

春の彼岸によせて

平成二十一年三月 大乘寺 住職 岡 光俊

世界中が混沌こんとんとしている昨今、この場で常に取り上げてきた人間の思い違いに気づき、心のありかたに目を向け、個人個人が根本から考えかたを変えていくときではないでしょうか。

日を追うごとに確実に仕事が少なくなり、不安を感じているかたが多いと思います。皆さまもお金に関わることに目を向け、時間を注ぎ込んでこられたでしょう。そうやって世界が同じように走ってきた結果が、今の状態であるといえます。

この場で佛さまの教えに触れて頂いている皆さまに学んで頂きたいことは、自分一人だけの幸せはあり得ないということです。おのれ己以外のすべてを大切にすること、その心を育てることが今こそ必要なのです。心が豊かにならなければ、人は物金で満足感を得ようとしません。

親、ご先祖さまへの感謝の心を養うことで、生かされていることの感謝、多くの方々にお世話になっていく感謝ができます。それらの感謝の数が増えれば増えるほど心は満たされ、物金への依存の量が減っていきます。

しかし、世の中には常に不平不満を口にし、不都合が起きるのはすべて他人のせいというかたがおられます。ご自身を振りかえってみて下さい。人のせい、相手のせい、国のせいと思っておられるかた。このかたは何時いつまで経つても、どのように周りが変わろうとも不満が消えないかたです。ここから一刻も早く脱出しないと、物金の人生になるでしょう。

物金の社会は人類による地球の富の独占を引き起こしてきました。勿論、人類だけが富を得ることは許されるはずがありません。豊かな自然のなか、地球が最適なバランスを保っていることが、最も大切なことです。人類がこのバランスを保つことができると思

込んでいるところにも、驕おどった人間の姿が見えてきます。

春の彼岸、墓前や佛前に向かい合い、ご先祖さまの何千年という弛たゆまぬ努力と命の引き継ぎのお陰で今自分が生かされていることに深く感謝させて頂きましょう。そしてお金を持つことから、心を磨くことに目標を方向転換することで、多くの問題が解決すると思います。心の豊かな人ほど、モノやお金に執着しないものです。

もし、今日までの「彼岸によせて」をお持ちでしたら、読み返してみて下さい。心を豊かにせずに、この先不安が消える時代はこないと思います。